

平成 21 年度 二番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 摘採日

本 年	前 年	前5か年
6月26日 (6月29日)	6月25日	7月1日

注) 平成22年度から調査園を変更する予定

()内は変更予定の調査園における予備調査数値 (以下同様)

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		前 5 か年	
収 量	指数	収 量	指数	収 量	指数
588 ± 48 (531 ± 106)	119 (107)	592 ± 43	120	494 ± 51	100

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		前 5 か年	
重 量	指数	重 量	指数	重 量	指数
33.1 ± 4.6 (39.4 ± 2.0)	82 (98)	42.3 ± 3.1	105	40.4 ± 3.8	100

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		前 5 か年	
芽 数	指数	芽 数	指数	芽 数	指数
1645 ± 312 (1264 ± 166)	170 (131)	1442 ± 136	149	967 ± 101	100

5. 出開き度 (%)

本 年	前 年	前 5 か年
76 (78)	81	79

6. 供試園の条件

品種	定植年次	栽植密度	樹高	株張り	その他
やぶきた	昭和31年3月 54年生	180cm × 30cm	92cm (64cm)	160cm (142cm)	防霜ファン、レール設置ほ場 一番茶摘採日は5/12 (5/15)

注) 年間施肥成分量 (kg/10a) N:44.9 P₂O₅:13.6 K₂O:19.4

7. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温 ()			最高気温 ()			最低気温 ()			
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	
5月	上旬	15.7	16.3	15.9	22.4	23.2	22.0	10.5	9.8	10.5
	中旬	17.0	15.2	16.0	24.1	21.8	21.7	9.9	9.4	10.8
	下旬	18.0	18.3	17.8	23.4	24.6	23.7	13.8	13.1	12.7
6月	上旬	18.6	18.4	19.3	24.1	24.0	24.9	14.5	13.8	14.3
	中旬	20.5	20.3	20.7	27.8	26.7	25.7	14.6	14.9	16.6
	下旬	23.3	21.0	21.7	29.6	25.2	26.2	19.0	18.1	18.3

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)			
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	
5月	上旬	62.0	29.0	46.2	4	2	3.9
	中旬	20.0	51.5	61.3	3	5	4.9
	下旬	17.5	90.0	44.0	5	5	3.9
6月	上旬	21.0	69.0	39.4	2	6	3.4
	中旬	34.5	60.0	67.3	3	5	5.3
	下旬	111.0	64.0	80.8	6	6	6.1

8. 概況

1) 気象

旬ごとの平均気温は、5月、6月ともに平年並みか平年よりやや高く推移した。降水量は、5月上旬には平年比の134%とやや多かったが、5月中旬～6月中旬にかけて平年比の33%～53%とかなり少なく～やや少なく推移し、この時期の総雨量は平年比の79%と少なくなった。6月下旬の降水量は平年比の137%とやや多かった。

2) 生育

本年度は、一番茶の摘採日が前5か年平均より2日早く、気温が高めに推移したため、二番茶の摘採日は前5か年平均より5日早い6月26日であった。また、一番茶摘採日から二番茶摘採日までの日数は45日と前5か年平均より2日短かった。収量構成要素は、百芽重が前5か年平均比82%と軽かったが、新芽数が前5か年平均比170%とかなり多かったため、生葉収量は前5か年平均比119%と多かった。

3) 病虫害の発生状況

チャノホソガの発生がやや多く、カンザワハダニの発生も見られたが、収量、品質に影響はなかった。

4) 県内の状況

平坦地、山間地とも本年の摘採日はやや早く、収量はやや少なかった。また、チャノホソガおよびカンザワハダニの発生がやや多かった。